

# 九州に行った話～やらかしを添えて～

高2 中原 船登

昨年 EF65[田]について書いた中原というものです。今年は旅行記を、と思っていましたがここに載せられるような旅行ができなかったので後輩への教訓を含めて過去最大級にやらかした昨年の春旅行について綴っていこうと思います。

## 1 日目 ～前菜、または嵐の前の静寂～

### 第1章 いい日旅立ち

本来の鉄研旅行では関西にいる時間が限りなく短く、どうしても果たさなければいけない用事があった私は鉄研旅行の本隊に集合せず友人セリヌンティウス氏(仮名)とともに東海道線をいち早く下っていきます。鉄道オタクに限らず数多くの愛用者がいる青春 18 切符を使っています。

### 第2章 関東脱出

乗り込む京浜東北線はもちろん初電。初電って意外と混んでいますが、無事席を確保してセリヌンティウス氏と合流します。まだ夜が明けきらない都会を進んで行くのが旅の始まりを感じさせます。当時はまだ建設途中だった高輪ゲートウェイ駅を過ぎると品川に到着しました。品川での乗り換え時間は 3 分、慌てず焦ら



ず 11 番線へ移動します。セリヌンティウス氏はグリーン車の地平階に逃げていきました。貧乏人の私は普通車の座席の端っこに席をとることが出来ました。鉄道唱歌の発車メロディーが鳴り終わるとドアが閉まり、動き始めました。聞きなれた加速音。安心と信頼の E233 系です。ちょうど品川 5 時 10 分発の列車に乗ると日の出とともに湘南の海が見えてきれいです。流れゆく車窓を楽しんでいると終点の小田原に着きました。ここから熱海まではまだ JR 東日本の車両です。

さて、熱海からは JR 東海区間です。日本におけるトンネル技術発展に関わり、御殿場線を本線から引きずり落とした長い長い丹那トンネルを抜けると某有名アニメの舞台、沼津につきます。素通りしてしま

### コラム①丹那トンネル

丹那トンネルは熱海～函南間にあるトンネル。1934 年の完成当初は全長が日本の中で二番目に長く、複線のトンネルとしては最長のものだった。トンネルは活動をやめた熱海火山(多賀火山)を貫き、工事は豊富な湧水、断層による地震、軟弱な地盤に苦しめられ、工期 16 年犠牲者は 67 人にもものぼった。

支線に格下げされた御殿場線には今も複線があったようなスペースが広がっている場所がある。

うのが惜しいです…。

### 第3章「SHIZUOKA」から「KANSAI」へ

貴方の近くにいる鉄オタに「静岡」「18 切符」という言葉を与えてみましょう。きっと早口で「静岡は地獄、JR 東海はケチだ。」という風な答えが返ってくるでしょう。

しかしながら、私はその意見には異を唱えたい。静岡区間は地獄ではありません！この乗換ルートで行くと途中、静岡と浜松で乗り換えるだけで静岡県を通過できます。さらに、この区間を通過するのは午前8時から9時ごろ。徹夜したのち、第一波の眠気が襲ってくる時間帯です。車窓をみても茶畑と浜名湖しかありません。(実際はもっとありますが…) つらい人は寝ましょう。適切な睡眠はあなたに注意力と的確な判断力を与えます。

さて、豊橋からは新快速に乗ります。豊橋で新快速に乗るのも快適な東海道線下りの旅には重要です。転換クロスシートの恩恵にあやかかってセリヌンティウス氏と綾鷹で乾杯しました。そんなこんなで大垣につきました。(少しだけ眠ることが出来ました。睡眠はとれるときに取りましょう。)

さて、大垣での乗り換え時間の間に改札外にセリヌンティウス氏が切符を買いに行きました。この旅行を行った年の3月に池袋の「びゅうプラザ」にて稼働していた多機能券売機 MV-30 形端末が取り換えられ、首都圏で熱転写式の切符を発行するのが不可能になりました。

彼はこの先使う 18 切符も熱転写券を使いたいということで買いに行ったようです。米原からは JR 西日本、洗練された車内デザインが JR 西日本の車両に乗っていることを嫌でも理解させてくれます。

京都に着いたところで一旦セリヌンティウス氏と解散。用事を済ませて鉄研旅行本隊と合流すべく神戸港に向かいます。JR に乗るのもいいと思いましたが、阪神のジェットカーで行こうと決め、環状線で西九条へ向かいます。西九条ではハリポッターラッピングの 201 系が出迎えてくれました。記録程度に撮影しつつ阪神電鉄のホームに急ぎます。

ここで少し時間があると踏んだ私は撮影でもしようかと撮影地の最寄りの駅に向かいました。そして改札を出て歩き始めたその時、雨が降ってきました。ぴえん。



#### コラム② 綾鷹

綾鷹はコカ・コーラ社が 2007 年から発売している緑茶飲料。「急須で入れたような味わい」をキャッチコピーとし、苦戦していた緑茶飲料において連続して発売数を伸ばしている。おいしい。



気を取り直してジェットカーに乗って御影駅まで向かい、神戸港に連絡するバスに乗り込みました。バスがものすごく混雑していました…鉄研生はなるべく譲りましょうね。

車内で発案者かつ現部長が集合に遅れそうだといいことを聞き、嘲笑っていたのは内緒(他人の不幸は蜜の味)。結局ことなきことを得たようです。

## 2 日目 ～メインディッシュ、または嵐～

### 第1章 南下

夜ご飯を買い込み、本日の宿かつ、移動手段であるフェリーに乗り込みます。私は基本的に船では眠ることが出来ないのです、コンセントに張り付いて一夜を明かします。神戸大分航路は大浴場が航行中にずっと開いていなかったのできつかったです(気晴らしにお風呂に入りたいので)。そんなこんなで九州が見えてきました。少なくとも記憶に残っている中では初めての九州です。

大分港の最寄り駅は西大分駅です。西大分駅にはコンテナ取扱設備があり、定期高速貨物列車が2往復停車します。かつては大分港への専用線もあったようですが、現在はなくなっています。港の近くの貨物取扱駅、ロマンを感じます。

さて、大分駅まで普通電車で移動して特急「にちりん」を利用します。何人かの後輩も一緒でしたね。後輩に延岡手前で起こしてもらおうようお願いした記憶があったりなかったりしますが…。朝ご飯を食べてうとうとしていたら宗太郎駅通過あたりで起きました。後輩の手を煩わせることにならず、よかったです。緑の中を特急列車は走ります。宗太郎あたりで撮影したかったのですが、自動車の運転免許がないばかりか、タクシーに相乗りしてくれるような友達もいないのであきらめました。

延岡で「にちりん」と別れ、駅員さんに18切符の本日分の日付印を押していただきます。この駅ではED76が羽休めをしていました。延岡からは普通電車でのんびり南下します。やってきたのは817系の2両編成。CTのロゴが側面についており、この車両は鹿児島車両センターに所属していることを示す青色のステッカーでした。ヘッドレストのついた体に優しいクロスシートが並び



#### コラム④ CT

JR九州が新製した近郊型・通勤型電車につけられている愛称のようなものであり、Commuter Train (通勤列車) を略したもの。817系にのみつけられていたが、平成27年に登場した305系など、817系列ではない車両にもつけられるようになってい

ます。車内に入り、軽く車内を見た後、走行音を録音するために網棚にレコーダーを固定器具で固定しました。行先字幕表に「試乗会」という表示があって珍しいなと思いました。

都農駅付近では宮崎リニア実験線跡地が突然現れます。小学生のころにジャポニカ学習帳の裏表紙に載っていたのを覚えています。

日本初のリニア実験線ですが、現在では高架であることを利用して太陽光パネルが連続して並べられていました。当時の最先端の技術を研究していた場所は何も知らない人が見たらただの人工物である、というふうにしか感じないような物に変わっていました。



### コラム③ 宮崎リニア実験線

宮崎実験線は1977年から1996年にかけて使用された国内最初の本格的な実験線である。なお、宮崎実験線は単線でカーブや勾配がなく、曲線や高速度でのすれ違いの実験などができないため現在では山梨実験線に実験の場を移している

時代と共に忘れられていくものって想像以上に多いのではないのでしょうか。

都農を過ぎてしばらく進むと、高鍋駅につきます。この駅は過去に「彗星」や「富士」なども停車しており、ホームにはその乗車案内がいまだに残っています。また、以前宝酒造への引き込み線があり、その遺構が残されています。

本来は南宮崎で降りるつもりでしたが、宮崎空港まで乗ってもその後の行程に差支えがないことが分かったので宮崎空港まで乗ることにしました。(この選択が悲劇につながる)

読者のみなさん。旅行2日目(2019年の4月1日)は何の日だったと思いますか？

## 第2章 令和おじさんとやらかし

2019年4月1日…それは新元号「令和」が発表された日でありました。車内で合流した先輩とスマホでその時を待っていました。中継が始まってもなかなか菅官房長官は出てきません。元号が発表されたのは宮崎空港から折り返して南宮崎に向かう途中。新元号「令和」の発表を聞き、浮ついた気分で南宮崎駅に降り立ちました。



南宮崎から引き続き普通列車で鹿児島を目指します。ここでもやってきたのは 817 系でした。

乗車中にあることに気づきます。

### 「レコーダー、回収してない!」

焦った私は次の駅で降りてしまいました。財布やかばんを忘れたわけではないので、忘れ物の生命にかかわる点での重要度は低いです。この後。予定では都城で吉都線に乗り換え、吉松駅から特急列車で鹿児島中央まで向かう予定でした。全ておじゃんになってしまいました。

忘れ物は登録されるのに時間がかかりますし、それがさしあたり必要にならないときはそのまま旅を続けられることをお勧めします。案の定、南宮崎駅の方にお伺いしても良い返事は聞くことが出来ないの南宮崎から特急で鹿児島中央まで高飛びします。



鹿児島中央からは鹿児島市電を貸切るので全体で集合するのですが、予定よりだいぶ早く着いてしまったので時間まで電気機関車や市電、バスを撮影していました。

市電の貸切では集合場所を間違えてしまった部員がいましたね。気を付けましょう(どの口がいているんだか。)

解散後は夜ご飯に何を食べようかと悩みつつ、鹿児島中央駅で露光撮影をしていました。今見ると悲惨な写真なので同級生と桜島に行けばよかったなあ、と思ったり思っけなかったり。撮影を切り上げてホテルのある天文館に向かおうとしたところ 18 切符がありません。もう一度書きます。

### 18 切符落としました。

鹿児島駅の駅員さんが本旅行記 2 ページ目の写真をもとに鹿児島中央駅に照会をかけてくださり、無事見つかりました。身の回りのものはしっかり管理しましょう。(18 切符は

どの段階で落としたか見当が付きません…。この日中に受け取らないと明日に差し支えるので鹿児島中央駅に向かうのですが、もう鹿児島駅から鹿児島中央駅に向かう JR の列車は特急列車しか残されていませんでした。幸い市電のフリー切符を持っていた私は市電で鹿児島中央駅に向かいます。受け取った後、明日の新幹線の乗車券と特急券を購入して鹿児島中央まで来た道に戻ります。夜ご飯は「豚とろ 天文館本店」でとんこつラーメンをいただきました。チャーシューが口の中でとろけておいしかったです。スープまで飲み干して、夜食を買って集合時間ぎりぎりにホテルに着きました。明日は朝一番の新幹線で熊本に向かいます。寝ませんでした。眠れませんでした。

3日目 ～そろそろデザートが欲しいです、嵐はまだまだ終わらない～

### 第1章 最後のやらかし

おはようございます。今の時刻は4時30分、セリヌンティウス氏ともう一人のY氏と待ち合わせて鹿児島中央駅まで歩きます。西郷隆盛像もまだまだ闇の中です。

駅にはキハ47系の4両編成が停まっていたのでシャッターを開けました。誌上だとおそらくつぶれてしまうと思うのでWEBでご覧ください。(心配しなくてもオンライン上に上がっているはず)



キハ47だけでなく、787系なども停泊していましたが、時間の関係でスルー。新幹線の改札をくぐろうと切符を改札機に通そうとしますが、入れた口から吐き出されてしまいました。よく特急券をみると有効期限は昨日の物…

## 切符の買い間違い

もう自暴自棄で、気分的に参っていました。さすがにやらかしすぎでしょ。こんな時のためにもお金は多めに持っていくことをお勧めします。

さて、停まっていたのは800系です。水戸岡デザインの中ではこれが一番好きです。コンビニで買っておいだ朝ご飯を食べて眠ります。自由席といえども新幹線なのでよく寝ることが出来ました。新八代で新幹線を降り、西鉄へと向かいます。新八代から先の行程は特に決めてなかったので予想外の出費を鑑みてお金を浮かせるべく行こうとしていた撮影地を減らし、JR利用へと切り替えました。

撮影を終わらせて西鉄久留米駅から JR の久留米駅へと歩きます。半分くらい歩いてから「これ、反対側に向かって歩いているのではないか」と思い駅まで引き返しましたが、あっていました。時間と体力ロスった…。

久留米からは鹿児島本線で基山まで。ここで存続が危ぶまれていた大牟田貨物を撮影しました。今更ですが逆光ですね。なぜここで撮ったんだっけ…



## 第2章 通勤(に使用される快適な)電車と国鉄型気動車

基山駅から鳥栖方面に戻りつつ、今日の宿のある長崎を目指します。佐賀駅に到着してから「切符に中原って入れたいな」と思ったので引き返します。理由はどうであれまたまた来た道に戻っています。中原駅で降りようと思っていたのですが、起きたら周りの乗客が全員降りてました。

### 寝過ごしました。

鳥栖止まりでよかったです。区間が違えばもちろん長崎にたどり着けないことになってしまいます。(睡眠はしっかりとりましょう。)

さて、折り返しの肥前山口行に乗って中原駅へ。降りた後で駅員がいるのか不安になりましたが無事いただいて後続の肥前山口行に乗り継ぎ、今度は無事に降りることが出来ました。肥前山口ではセリヌンティウス氏を見かけたような気がしましたが、彼は長崎本線に向かうようなので一緒にはなりませんでした。早岐までの電車も 817 系の 2 両編成でした。このころにはあの顔に半ば飽きていました。

早岐からは国鉄型気動車であるキハ 67 系が運用されています。無駄に時間を使わなければこっちを撮影したかったです。で、コンセプトとしては関東地区において特急「踊り子」などに使用されている 185 系と似たようなものを感じます。ホームにとまっていたのは 1 ユニットしかない国鉄気動車急行標準塗装。車内は当時



#### コラム④ キハ 67 系

キハ 67 系は山陽新幹線博多開業に先立って筑豊・北九州地区の新幹線連絡輸送に使用するために製造された急行並みの車内設備を備えた車両で実際に 1980 年までには急行列車として使われていた。車内の座席は国鉄としては珍しい転換クロス

の雰囲気十分に感じられ、アルミサッシの窓枠の落書きや沈みゆく夕日がゆっくりした時間を流していきました。旅の中で一つの目的としていたのうれしさ全開です。漢字の田の文字の形の窓から見る大村湾のきれいさと言ったら筆舌に尽くしがたいほどのものです。

ハウステンボスで大勢の観光客と思わしき人々が降りた後は地元の方がちらほらいる程度になり、スナップらしきものを何枚か撮影しました。諫早を過ぎると車内には車輪がレールの隙間を乗り越える重い音とディーゼルエンジンの音、そして踏切の警報音…。感傷にふけりつつ、それらの音を子守歌代わりに浅い眠りにつきます。

長崎駅に降り立ち、先輩に誘われたので夜ご飯にご一緒させていただくことにしました。長崎と言えば「皿うどん」ということで駅ビルの中にあっただお店に入ります。当時の部長が全額出してくださるとおっしゃっていただきましたが、さすがに悪いので端数だけ出していただきました。U先輩大好きアイシテル♡



さて、夜ご飯も済んだし長崎市電とかバスを撮りつつ、ホテルに向かいます。

…あれ？長崎といえば夜景では？(時間の都合上切り捨てました。近いうちに行きたいです。)長崎の地上ホームをよく撮っておけばよかった(高架化されてしまいました。)

ホテルのウェルカムコーヒーを飲んで、近くのファミマに夜食を買いに行きます。そこで微炭酸のカルピスを買ったんですけど、開栓したときに、衝撃を与えてないのに噴出しました。こわ…。翌日はあさイチの特急で博多に出ます。(寝坊が怖いので)寝ている暇はありません。違うホテルの同級生と通話をして過ごします。修学旅行の夜とは違い、教員の巡回がないので物足りないですが、こういう時間が好きです。「THE 非日常」みたいな。

#### 4日目 ～デザート、または平凡な旅行～

##### 第1章 動物も歩けば列車に当たる





寝落ちすることもなく4日目の朝を迎えました。手の中にある特急券はしっかり今日の分ものです！朝一番の「かもめ2号」で博多に向かいます。今日は特急を使わない区間を18切符は使わずに普通乗車券だけで移動します。自由席に席をとり、睡眠にふけります。おそらく鳥栖を過ぎたあたりで起きたのですが、少し遅れていました。どうやら久大本線で動物と接触した列車がいたようです。ノーブランな私には多少の遅れなど関係ありません。(貨物が遅れたのでラッキーだった可能性すらあります。さて、普通列車に乗りついで一つ隣の吉塚駅を目指します。先輩方もどうやら一緒のようで…。貨物列車や2時間位撮影した後、お昼を食べに博多に戻ります。



博多駅の改札を降りて適当にぶらぶらしているとラーメン屋があったので博多ラーメンを頂きます。ちょうどお昼時でしたが並ばずに食べることができました。固め大好き人間なので博多ラーメン大好きです。

お昼ご飯を食べ、ネットで目星をつけていた俯瞰撮影地に向かいます。415系の門司港行。九州地区生え抜きのFo108編成でした。スペースワールド駅のお

となり、枝光駅まで乗ります。

スペースワールドといえばあの大きなスペースシャトルでしたがすでに取り壊された後、なおかつ逆光状態ということで心配していましたが、その心配が的中してしまいました。結構歩き回って場所を探したんですけどねえ…。つか変な柱立生えてるんですけど。無理ぽよ～。

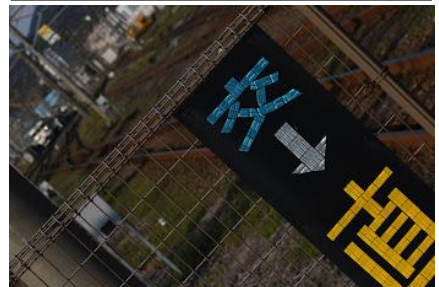
駅降りてちょっと歩くとすぐに急な斜面が始まるので住んでいる人は大変なんだろうな、と思いながら駅に向かって歩いていくと「令和」というお食事処が。店主の方によると新元号に合わせて店名を決めたとのこと。訪問当時はオープン前だったのですが。優しい店主さんだったので今度九州に行くときはお邪魔したいですね。

## 第2章 関門セクション

枝光から迷いなく門司へ向かいます。本州から在来線で九州にアプローチする際に最初に通る駅です。本州からの玄関口は連絡船時代は門司港駅、関門トンネル開通後は門司駅、山陽新幹線開業後は小倉、と時代によって移り変わっているのが興味深いです。山陽本線

### コラム⑤ 交直セクション

デッドセクションの一つで電化方式が切り替わる区間に設けられ、電流区分セクションといわれる。関門セクションのほかに、常磐線 取手・藤代間、水戸線 小山・小田林間、東北本線 黒磯・高久間、羽越本線 村上・間島間



は直流電化、鹿児島本線は交流電化なので下関側構内に直交セクションがあり、電車が通過する際は一時的に停電状態となり、車内の蛍光灯は消え、前照灯は補助電源による片目点灯となります。(なお、貨物列車の場合は関門トンネルから登ってくる際に貨物の重さによって後退してしまうことを防ぐため、ホームのない中線の小倉寄りにあるセクションを通過する。) 切り替えに失敗すると電車が長時間止まってしまうので注意書きがあります。

JR九州の方針にもよると思いますが、関門海峡を蓄電池車で越える日もそう遠くないように感じます。(交直流電車は値段が高くなることに加え、蓄電池車はすでにノウハウがあるため。)

今日の夜は阪九フェリーで九州を離れます。新門司港へのシャトルバスを待っている間にファミリーマートで夕食と夜食、明日の朝食を買います。戻ったらバスが来てました。忘れ物無いか周りを確認して乗り込みます。

バスが発車した後に持ち物を確認するとカメラがありません。確認したんだけどな、と思っていると部長がメールで「中原君のカメラは野沢先生が持ってるよ」と。

先に預かられていたら、そりゃないはずだわ。と思いつつほっとしました。さすがに同じ轍を踏んだら母親がキレます。

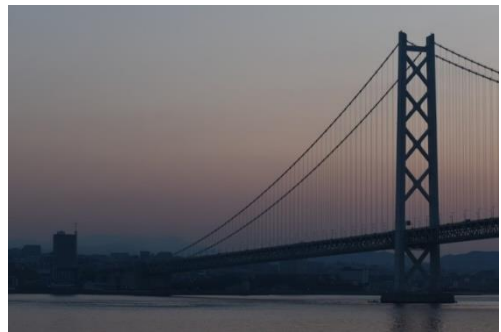
フェリーではカラオケを嗜みました。現部長のものすごく綺麗で誰もが涙を流すような歌声に部員総出で泣きました。(決してバカにしてないですからね♡)

5日目 ～ごちそうさまでした、おうちに帰るまでが鉄研旅行です。～

第1章 ローカル線、椅子にもたれるか荷物にもたれるか。

おはようございます。時刻は5時45分をまわったところ。まもなく瀬戸大橋をくぐります。ということで甲板から軽く1枚。まだ神戸港までは時間があるので二度寝します。

今日の全体集合は中津川。例によって行程なんて決めてないのでセリヌンティウス氏についていこうとしたものの神戸線に乗って大阪駅に来



たところではぐれたので単独行動に切り替えます。新快速で草津まで、草津から草津線で柘植、柘植からは関西線で名古屋に出ようと大体の行程を立て、草津線のホームに行くと「SHINOBI-TRAIN」が止まっていました。「ラッキー」と思いつつ半自動ドアを開け車内に入りました。席を確保してお昼ご飯を確保しにキオスクに行こうとして車外に出つつ半自動ボタンの閉ボタンを押したら挟まりました。車外にも閉ボタンつけてください。

さて、キオスクで買ってきた塩むすびとおかかむすびをほおぼります。ああ、朝日が気持ちいいなあと椅子の背もたれにもたれてうとうとします。車窓を撮影していたので爆睡は

しませんでした。

そんなこんなで柘植に到着。2両編成のキハ120に乗り換えます。関西本線はキハ120のエンジンの音、車内の臭い、これは寝るしかないですな。ロングシートなのでリュックにもたれて寝ます。亀山到着直前に起きました。亀山から四日市まで移動して四日市からは名古屋まで早くて快適な「快速みえ」で。

## 第2章 鉄研競歩大会(個人の部)

名古屋についたのでとりあえず降りました。時間に余裕があったのでなんとなく改札を出ます。名鉄名古屋でも行こうかぁ、と考へつつ神領らへんでいいや、と自己解決してJRの名古屋駅に戻り、中央西線に乗ります。結局神領ではなく土岐市で降りました。

Twitterでいい感じの場所を見かけたんで行こうと思ったんですよ。

…結局場所分らずに隣の瑞浪駅まで歩くことになったんですけど。

ここからはひたすら塩尻まで乗っていきます。車内が貸切状態だったので綾鷹で遊びました。接続悪くて途中の駅で20分くらい待ちました。

何のトラブルもなく集合できました。ここから大勢の鉄研旅行生が2両の中央西線に集中し軽くラッシュ状態に。何とか席を確保できてよかったです。ここから先の行程については詳しくは昨年の駐車場の記事をご参照いただきたいと思うのですが、中津川から塩尻まで前述のように普通列車で移動し、中央本線の普通列車に乗りついで上諏訪へ。上諏訪から「特急あずさ58号」に乗って無事東京に帰ってきました。

## あとがき ～遺言～

ということであとがきへようこそ。意外に1年前のことって忘れてるんですね。思い知らされました。今年の春旅行は北海道に行く予定だったのですが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で延期。本来はこの夏に延期分の旅行+夏旅行を行うつもりでしたが当然行けるわけもなく。鉄研という集団で公共交通機関を使って旅行できる日がいち早く戻ってくることを切に願っています。レコーダーは南宮崎駅から郵便にて送っていただきました。昨年も書いたような気がします…。早いうちに直接お礼がしたいです。

毎年どの先輩も書いておられるのが「鉄研4年半が短い話」だと思います。実際短いです。特に春休み～7月上旬までの間は部活がなく、オープンキャンパス・高学祭が対面という形では実施されなかった(されない予定)なので、初電で学校に来て出展の準備をすることもなく、物足りないです。高学祭がなく、オーストラリアへの海外学校交流(という名の修学旅行)もない私たちはどのような形で引退すればよいのでしょうか？

ところで、鉄研旅行中のやらかしについて話していきましょう。オーソドックスなのは集合時間に遅刻する、無断で離脱する、切符をなくす、ものをなくす、金が足りなくなる。とかです。一つずつ対処法を考えていきましょう

### ①遅刻

これはいろいろな要素が絡みますが、まずはしっかりと集合時間と集合場所を確認しましょう。また、日帰り旅行の集合は早くて7時からですので徹夜せずに早寝早起きを心がけましょう。

### ②切符を無くす

これは気を付けていてもやらかすことがありますが入れる場所を決めておくといいのではないのでしょうか。

### ③無断で離脱する(自暴自棄になって勝手な行動をとる)

実際に「ムーンライトながら」の指定席券を無くしてムーンライトながらに乗らなかった先輩がいらっしゃいました。当然ほかの参加者に迷惑がかかりますし、その時には顧問の先生が始末書を書かなければいけないほどになったそうです。どっちにしる顧問に迷惑をかけるのなら大事にならない方を選びましょう。顧問の先生は参加者全員の安全に対する責任を負っています。ただ仲間うちでやる旅行とは違います。

### ④ものを無くす

その場を離れる前に周りをよく見ましょう。忘れ物はもちろん自分たちが出したごみが放置してあるなら拾っていきましょう。

### ⑤お金が足りなくなる

純粋に読みが甘くてお金が足りない場合と今回の私のようにミスの挽回のために特急券や新幹線特急券、乗車券などのお金が必要になる場合があります。誰かが発案した場合でも今一度自分でその行程でかかるお金が正しいのか、その列車選択で乗り継ぎ合出来るのか、食事は十分に食べられるのか、など考えておきましょう。(お金が足りなくなったときに一番削るべきはお土産です。お土産話で大体の人はお土産と同じくらいの感動を得るはずです。)なるべく旅行前に切符は用意しましょうね。……買い間違いをしないためにも。

### ⑥何かやらかしたときは…

「ほうれんそう」をしっかりしましょう。「ほうれんそう」とは「報告」「連絡」「相談」のことです。「自分が今どこにいてどういう状態になっているのか」「このままだと何時にどこで合流できるのか」など顧問、同級生などと連携を密にとりましょう。

やらかしたことは仕方ないので、くよくよせずに同じ過ちを繰り返さないように注意しましょう。

### 参考文献

- ・ ウィキペディア: <https://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・ 拙い記憶

今年も提出期限を守ることができませんでした。ごめんなさい。

ってか最初は「我田引鉄」で研究記事書いてたんですけどね。(裏の編纂委員長より)